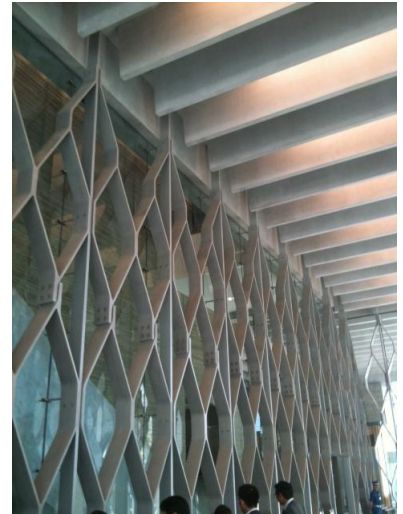


災害情報研究会 H24 年度 第 6 回会合 (議事録)

(敬称略)

1. 日時：2012/10/15(金) 15:00-16:30(見学)、16:30-17:30(研究会)
2. 場所：清水建設新社屋ビル会議室
3. 進行：市川座長 (レスキューナウ)
4. 記録：東根 (あずまね) (建設環境研究所)



5. 出席者 (10名：敬称略・順不同)  
市川 (レスキューナウ)、橋元 (清水建設)、※南部 (清水建設)、高橋 (インフォコム)、野田 (アジア航測)、高木 (富士通エフサス)、前田 (富士火災)、上倉 (SENON)、若林 (イーアールエス)、東根 (建設環境)

※  
6. トピックス

○清水建設新社屋ビルを案内していただいた。

免震構造、長周期振動対策、ハイブリッド型輻射空調、アンビエント照明とグラデーションブラインド、etc. 右写真は玄関ピロティの大空間を支えるX字型構造と梁。構造とデザインの融合。コンクリート壁も杉板の枠組みを丹念に当てて板目を転写した深みある壁。玄関から掴みはOK。帰宅困難者対応も考えた構造になっている。

7. 実施内容

(1) 前回議事の確認

- ・出席メンバーで前回の内容を議事録にて確認した。

(2) アクション項目別フロー図の検討、確定

① 「a42：被災取引先への支援」前田 (富士火災)

- ・インプットに i71 (重要業務の復旧活動状況) を入れるかを議論。情報をたどると、もう一つの input となる i22 に含まれていることを確認したことにより、i71 は input から削除することとした。
- ・上記の精査の過程で、上流側アクションの a16 (復旧活動の把握)、a32 (現地被害の収集)、を確認したところ記載表現が一致しないので、a16 に統一することとした。
- ・なお、How：手段は“情報を収集する”手段と、“情報を伝達する”手段の2通りがあることを確認した。情報を得る段階と伝える段階で手段が異なる場合がある。
- ・ナビゲーターの上流側、a17、a40 は削除。
- ・ロジスティックについて議論した。ロジスティックは流通業界の用語。本来はロジスティクスで、兵站用語であり、「物流・販売・調達、保管等」を含む概念として扱うこととした。
- ・次の a43 復旧活動の報告で、本部報告があるので、a32 のアクションは現地災害対策本部までの流れとすることとした。

7. 今後の予定

① 次回アクションフロー検討担当

- ・a43：高橋 (インフォコム)
- ・a44：上倉 (SENON)
- ・a45：副島 (大林組)

② 次回以降

- ・a46：高木 (富士通エフサス)
- ・a47：若林 (イーアールエス)
- ・a48：南部 (清水建設)

8. 次回研究会

- ・日時：平成 24 年 11 月 16 日 (金) 15:00~17:00
- ・場所：日本橋 BCAO 事務所
- ・議題：① アクション項目別フロー図検討

以上